

## あとがきにかえて

神戸地域県民行動プログラム第2集をお届けします。第1集は、「このようなことをしては、こんなことがやりたいなあ」といった、神戸地域ビジョンの実現のためのヒントとなるような意味合いが強いものとしてまとまっておりますが、第2集は、このヒントに基づいて実践されてきた行動成果の報告に力点が移ってきたものとなっております。

活発なビジョン委員活動が第1集作成以降、具体的なものとしては平成14年7月7日の七夕の日の地域夢会議での「この指とまれ」の呼びかけから半年の間に行われたことを考えると、この短い期間にこのような活発な活動を積極的に実践された委員の皆様の熱意と行動力に敬意を表します。

実践活動が積み重ねを加え、お互いがその情報を交換・交流し、共有しあうなかで、ますます活動が活発となり、新たな活動が呼び起こされていくことを期待しております。

この神戸地域県民行動プログラム第2集の発刊をもって、平成13年度から活動していた第1期ビジョン委員の区切りとなります。第1期ビジョン委員の皆様には平成13年9月の就任以来、平成14年3月までの限られた期間に、熱心な討論を重ねていただき、多様な分野での多彩な内容の神戸地域ビジョンの実現に向けた実践活動を提案した県民行動プログラム第1集をまとめていただきました。さらにこの第1集に基づき、活発な実践活動を繰り広げていただきました。

このように、ビジョン委員会のルールを敷いていただいた委員の皆様に改めて厚くお礼を申し上げます。

第1期委員の活動は、第2期にも継続されることとなります。これまで構築されてきた行動提案と活動成果を大きな財産として、第2期委員会活動がますます力強く展開されていくことを期待するとともに、第1期委員の皆様にはそれぞれの立場で引き続いての実践活動の展開をお願いいたします。

兵庫県神戸県民局長

古西保信